

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

**Network**  
**Now**

**JART**情報  
<https://www.jart.jp>

2024 No.582  
**6/1**

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28  
三田国際ビル22階  
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



## 2024国際医用画像総合展 (ITEM in JRC 2024) 開催される (ハイブリッド開催)

2024国際医用画像総合展 (ITEM in JRC 2024) が、2024年4月12日 (金) から14日 (日) までの3日間にわたり JRC 2024 と併催で開催されました。国際医用画像総合展 (ITEM) は、一般社団法人日本ラジオロジー協会 (JRC) 主催、一般社団法人日本画像医療システム工業会 (JIRA) の運営の下、1988年以来、日本医学放射線学会総会、日本放射線技術学会総会学術大会、日本医学物理学会学術大会の3学会と同時に開催されている日本最大規模の医用画像機器・周辺機器の総合展示会です。

ITEM 2024のテーマは「変革の時代を先導する～Leading an Era of Transformation」と掲げられ、多くの参加がありました。本年度の会場であるパシフィコ横浜 展示ホール A (一部)・B・C・Dには140もの企業が出展し、昨年に続き、Web展示「ITEM 2024-WEB」(2024年4月12日 (金) から5月16日 (木) までオンライン公開) とのハイブリッド方式での開催でした。新型コロナウイルスによる制限も緩和されつつある中で、例年にな

く多くの参加者で会場は熱気に包まれており、フォトンカウンティングCTやAI技術をはじめとした最新の放射線医療機器は、今後の診療を大きく変えていくものと実感しました。

また本年度、日本放射線技術学会と合同開催する第1回日本放射線医療技術学術大会 (第40回日本診療放射線技師学術大会) にご協力いただける企業へのあいさつのため、上田会長をはじめ児玉副会長、富田副会長、江端業務執行理事、川守田理事、園田理事、江田統括専門職が現地会場入りしました。

開催県である沖縄県の実行委員会からも、長野前会長の他、合同大会の実行委員が同行し、共催セミナーや展示への協力依頼とあいさつを行いました。なお、来年は福岡県で第41回日本診療放射線技師学術大会が行われます。

会場を視察する中で、各企業の惜しみない努力がうかがえ、私たち診療放射線技師もこれからの最新技術を正しく使うために日々研鑽し、より良い医療を目指していかなければならないと思いを新たにしました。(文責：富田 博信)

## 第57回中華民国医事放射学会 (TWSRT) および 第31回東アジア学術交流大会 (EACRT) 開催される

2024年3月23日 (土)・24日 (日)、台湾の台北市で第57回中華民国医事放射学会 (TWSRT) および第31回東アジア学術交流大会 (EACRT) が「Career Development of Radiology Profession」をテーマに開催されました。

大会に先立ち、前日の22日 (金) にEACRT代表者会議が開催され、本会から上田会長、児玉副会長、江藤副会長、園田理事が出席しました。主な議題として、新型コロナウイルス感染症の影響により停止していたアジア地域の教育サポート (Asia Supporting Fund) について協議され、本年より再開することとなりました。



本大会のInternational Sectionでは、日本から2人の養成大学教員が発表を行いました。またEACRT Symposiumでは、大会テーマである「Career Development of Radiology Profession」について、台湾、韓国、マカオ、マレー



シア、そして日本から各国の現状報告を行いました。日本からは児玉副会長がタスク・シフト/シェアに伴う業務拡大のための告示研修の内容や研修方法について講演し、各国から高い関心を集めました。また台湾の診療放射線技師資格は更新制度のため、本大会には現地の多くの診療放射線技師が参加しており、ポイントの申請に長蛇の列ができていました。

今後のEACRTの開催については、第32回EACRT(2025年)は韓国、第33回EACRT(2026年)は日本で開催されることになりました。第33回EACRTは、令和8(2026)年9月11日(金)～13日(日)に山形県で開催される第42回日本診療放射線技師学術大会と併催されるため、多くの会員の皆さまの参加をお願い致します。

## 国会議員向け「MCI(軽度認知障害)予防検査に関する勉強会」開催される

2024年4月8日(月)午後2時より、衆議院第二議員会館会議室で国会議員向け「MCI(軽度認知障害)予防検査に関する勉強会」が開催されました。冒頭に、衆議院議員の木原誠二(自民党幹事長代理)先生からごあいさつがあり、その後、畦元将吾衆議院議員(本会会員)の進行の下、本勉強会が始まりました。



本勉強会は、畦元将吾衆議院議員の政策の根幹である「認知症の予防・治療を推進し健康寿命の延伸を実現する」ために企画されました。

プログラムの内容は、本会の児玉副会長より、認知症の発症までの経緯や発症前の「MCI」発見の重要性についての講義があり、その後、AIを利用した認知症発症リスク予測プログラムを開発したメーカーの石田学先生からご講演いただきました。お二人の講演終了後、自由民主党の猪口邦子参議院議員ほか複数の議員から、生活習慣病との因果関係やMCIの発見方法などについて質問がありました。

本会からは江端業務執行理事も出席し、展示されていた



「認知機能セルフチェッカー」のデモ機を体験され、とても簡易的な装置で、今後の「MCI」早期発見に期待できるとの感想を述べていました。

今回の勉強会には、自由民主党の丸川珠代参議院議員をはじめ多くの議員や厚生労働省の官僚、報道関係者らが出席されており、多方面の方々が、本勉強会のテーマや扱っている分野に関心を持たれていることが理解できました。

本会会員である畦元氏には、引き続きこの分野における活躍を期待したいと思います。(文責：江田 哲男)



## 2023年度 期末監事監査 実施される(Web併催)

2024年5月2日(木)、2023年度期末監事監査が行われました。初めに、上田会長からあいさつならびに2023年度事業の総括について報告がなされ、その後、園田理事から庶務報告と事業ごとの報告がありました。今回は事業ごとの報告

と収支実績を同時に確認しながら監査が進められました。その後、江端業務執行理事から財務諸表および財産目録などの会計報告がなされました。事業および会計監査の他に会議資料などのセキュリティー状況、職員の賃金台帳、金銭出納帳

の確認方法、会員からの問い合わせ内容の記録、資料の決算権限などについて質疑応答が行われました。

全ての質疑が終了した後、監事からの講評において以下の指摘がなされました。

①事務局体制の確立

- ・事務職員の退職に対する賃金の検討と働く環境の改善

②役員、職員の働き方改革について

- ・就業時間や休暇について働き方改革を意識した対応

③書類の不備について

- ・書類のダブルチェック体制の確立など



講評終了後、上田会長より、ご指導いただいた監事への感謝と指摘事項の改善に向けて取り組むことが述べられ、2023年度の期末監事監査を終了しました。

## 2023年度 放射線治療分科会主催 生涯教育セミナー（治療計画・実践編） [大阪府] 開催報告

放射線治療分科会 委員

佐藤 清和（東北大学病院）

2024年2月17日（土）・18日（日）の2日間、森ノ宮医療大学（大阪府大阪市）で『「乳がん」術後放射線療法～治療計画から照射までの実践～』をテーマに、生涯教育セミナーが開催されました。

本セミナーは、乳がんの治療計画から照射までの一連のプロセスに必要な基礎知識・スキルを体系的に学ぶことを目的としました。参加者は8人であり、治療計画装置1台につき1人で使用する実習型の講習会としました。



受講風景（講義）



受講風景（実習）



集合写真

初めに、治療計画未経験者を対象として、適切な治療計画を行うために必要な臨床的・物理的な基礎知識について解説しながら、治療計画装置の基本操作について演習を行いました。次に、「乳がん術後放射線療法治療計画の実践」という内容で、乳がんの臨床や治療戦略、照射範囲の設定およびビームアレンジメントなど、具体的な治療計画のTipsも解説しながら、受講者がそれぞれ治療計画を作成しました。また治療計画におけるエラーが放射線治療全体におけるインパクトも大きいことから、エラーを含んだプランチェックを実践し、広島大学病院の中島健雄先生からプランチェックの重要性についての講義を含め、治療計画に関する理解を深めました。さらに森ノ宮医療大学の奥村雅彦先生にバーチャル放射線治療システムの概要を解説いただき、照射模擬演習を行いました。ここでもいくつかのエラーを含めた治療計画を読み込み、グループごとにエラー内容を確認しながら、仮想的に放射線治療装置を操作する演習を行いました。最後に、事前アンケート結果を基に、各施設の取



修了証授与

り組みや運用方法に関する情報共有、治療計画に関する質問などに回答しながら議論を行いました。演習を多く行うことで、乳がんの治療計画から照射までの一連のプロセスについて理解が深まったものと考えます。また参加者からは事後アンケートによって高い評価を得ており、今後も内容をアップデートしながらさらに発展した内容を検討したいと考えています。

本セミナーにご参加いただいた方々、会場準備および照射模擬演習にご協力いただいた森ノ宮医療大学の奥村先生、ブランチェックに関する講義を頂いた広島大学病院の中島先生、治療計画装置の実習にご協力いただいた株式会社バリアンメディカルシステムズ担当者の方々、本セミナー開催にご尽力いただいた当会の関係各位に、心からお礼を申し上げます。

## 2023年度 オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けた意見交換会開催報告 (Web開催)

オートプシー・イメージング (Ai) 分科会  
分科会長 阿部 一之

このたび、オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けた意見交換会を以下の3部構成で開催致しました。

- 第39回日本診療放射線技師学術大会 オートプシー・イメージング (Ai) 分科会シンポジウム (熊本市) の報告
- オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂素案の説明
- 参加者との意見交換

多くの会員に参加していただき、有意義なイベントとなりました。

### ●オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けた意見交換会の背景

平成22 (2010) 年3月に「Aiにおける診療放射線技師の役割—X線CT撮影等のガイドライン— (院内Ai実施編)」を発

行し、平成29 (2017) 年3月には「Ai (Autopsy imaging: 死亡時画像診断) における診療放射線技師の役割—Ai検査ガイドライン—」を第2版として公開してきました。第39回日本診療放射線技師学術大会 オートプシー・イメージング (Ai) 分科会シンポジウム (熊本市、2024年9月30日) (表1) でオートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向け、シンポジストと会員からの発言を受け、意見を集約しました。それを基に、オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けた素案を提案し、会員の皆さまと広く意見交換することを目的に意見交換会を開催しました。

### ●オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けた意見交換会 (表2)

2024年2月24日 (土) 午後2時~4時、Web開催  
(プラットフォーム: Cisco Webex Meetings)

事前参加登録者数48人、当日参加者数34人でした。

- 第39回日本診療放射線技師学術大会分科会企画シンポジウムでのシンポジストからの提案と意見交換の内容について、中川太樹委員から報告しました。
- 金山秀和委員はシンポジストからの具体的な提案内容と会員の意見を勘案し、「オートプシー・イメージング

表1 第39回日本診療放射線技師学術大会オートプシー・イメージング (Ai) 分科会企画シンポジウム

|        |                                             |                                                                                                                          |                                                                                                   |
|--------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 座長     | 中川 太樹 (委員)<br>金山 秀和 (委員)                    | 医療法人至誠会保利病院 (熊本県)<br>島根大学医学部附属病院 (島根県)                                                                                   | オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けて                                                                   |
| シンポジスト | 阿部 一之 (分科会長)<br>佐々木 保 (委員)<br>尾形 学<br>山本 正二 | 日本診療放射線技師会<br>オートプシー・イメージング (Ai) 分科会<br>群馬県立小児医療センター (群馬県)<br>佐賀大学医学部附属病院 (九州Ai研究会)<br>オートプシー・イメージング (Ai) 学会<br>理事長 (当時) | オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂への取り組み<br>小児専門病院から発言<br>地方のAi研究会から発言<br>オートプシー・イメージング (Ai) に関連する学会から発言 |

表2 オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けた意見交換会

|               |                                                                                 |                                                                                                                        |                                  |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 報告 (1)        | 中川 太樹 (委員)                                                                      | 医療法人至誠会保利病院 (熊本県)                                                                                                      | 第39回日本診療放射線技師学術大会分科会企画シンポジウムの報告  |
| 報告 (2)        | 金山 秀和 (委員)                                                                      | 島根大学医学部附属病院 (島根県)                                                                                                      | オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂素案の説明 |
| 参加者との<br>意見交換 | 金山 秀和 (委員)<br>中川 太樹 (委員)<br>加藤 勲 (委員)<br>佐々木 保 (委員)<br>高橋 伸光 (委員)<br>田代 和也 (委員) | 島根大学医学部附属病院 (島根県)<br>医療法人至誠会保利病院 (熊本県)<br>大垣市民病院 (岐阜県)<br>群馬県立小児医療センター (群馬県)<br>奥州市総合水沢病院 (岩手県)<br>筑波メディカルセンター病院 (茨城県) |                                  |
| 意見集約          | 金山 秀和 (委員)                                                                      | 島根大学医学部附属病院 (島根県)                                                                                                      |                                  |

- (Ai) ガイドライン改訂に向けた素案」を報告しました。
3. 質疑応答セッションでは、「オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けた素案」の内容について参加者との意見交換を行い、大変有意義な意見交換会でした。

### ●オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けたこれからの取り組み

参加者との質疑応答で、画像の保管期間や所見チェックシートの運用に関する意見があり、オートプシー・イメージン

グ (Ai) ガイドライン改訂は短期的・長期的な展望を踏まえ、改訂作業を進める必要があることを再認識しました。

今回の意見交換会で得られた提案を検討し、2024年度には「オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン (第3版) 一次案」として、会員と地方の研究会や学会との意見交換会の開催を検討しています。

オートプシー・イメージング (Ai) の現場でご活躍の皆さまのご意見が一番重要です。次回もぜひご参加ください。オートプシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向け、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 第16回北陸3県診療放射線技師学術研修会 開催報告

公益社団法人富山県診療放射線技師会  
理事 川田 勝義

2024年3月17日(日)、富山市の富山大学杉谷キャンパス日医工オーデトリウムで第16回北陸3県診療放射線技師学術研修会を開催致しました。テーマを「期待される診療放射線技師の役割に応えよう」として完全会場型で執り行いました。参加者総数は86人と多くの方に参加いただき、久々に活気のある学術研修会となりました。

本学術研修会は会員研究発表12演題、教育企画、特別企画の盛りだくさんのプログラムとなりました。

教育企画として、本技師会理事で富山市民病院中央放射線部の嶋尻悟志先生よりアンケート報告「富山県内での業務拡大・業務範囲の見直しに関するアンケート調査結果報告」と題してご講演いただきました。

JART 上田克彦会長からは「病院で働く診療放射線技師に期待される役割と今後の展望について」と題してご講演いただきました。

特別企画としては、福井県済生会病院放射線技術部の坪内啓正先生から「災害医療から学んだ診療放射線技師の役割～どうする診療放射線技師～」と題して、また富山県立中央病

### 第16回北陸3県診療放射線技師学術研修会

in TOYAMA



富山城

『期待される診療放射線技師の役割に応えよう』

院救命救急センター一部部長の若杉雅浩先生から「災害医療におけるメディカルスタッフの役割について」と題してご講演いただきました。

また災害医療に関連した特別ゲストとして、能登半島地震において現地で災害支援診療放射線技師として支援活動をしていただいた県内の2人の技師を招待して、活動報告をしていただきました。

能登半島地震後の多忙な時期に多数の方に集まっていたことで、北陸地域の一体感を得られた学術研修会でありました。参加された皆さま、ありがとうございました。

最後になりますが、本学術研修会にご尽力いただきました石浦幸成大会長、酒井幹緒実行委員長ならびに実行委員の皆さまに、心より感謝申し上げます。来年度は石川県での開催となります。



実行委員



会場



大会長あいさつ

## レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

## FUKUI

## 令和5年度健康フェア

- 開催日時：2024年3月3日（日）  
午前10時～午後3時
- 開催場所：福井市清水健康管理センター  
福井市風巻 28-8-1

## ■ 実 績：

- ①『令和5年度健康フェア』来場者数：359人  
※以下は本会出展内容
- ②超音波式骨密度測定：212人
- ③ポスター展示（診療放射線技師のお仕事紹介）
- ④リーフレット配布（診療放射線技師のお仕事紹介）：  
237枚

公益社団法人福井県診療放射線技師会では、2009年より福井市保健計画「健康ふくい21」、現在は第3次福井市健康増進計画「健康ふくふくプラン21」の推進事業に賛同しています。主催である福井市は、県内の団体と共催し福井市民の健康づくりのため毎年のように『健康フェア』を開催しています。本年は19の団体が参加しました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、本年度は徐々に感染状況が落ち着いてきたため、例年よりも遅い時期とはなりましたが無事に開催でき、胸をなで下ろしているところです。

本会の出展内容は、健康チェックとして「超音波式骨密度測定」を行い、「診療放射線技師のお仕事紹介」のポスターの展示、またリーフレットを配布しました。なお、広報組織調査委員は4人で運営しました。

9時50分の開場とともに多数の市民の方々が訪れ、総合受付横の整理券配布場所は長蛇の列になりました。



多数の市民の方々が訪れました



待ち時間に行われたミニ体操

た。骨密度測定ブースにも続々と参加者が訪れ、待合席はすぐに満席となり、特に、午前中は大変な混雑が続きました。しかしこれは想定内で、事前打ち合わせ会で、日本健康運動指導士会さまより「待ち時間対策でミニ体操をしましょう」との提案がありました。そのおかげもあり、混雑しながらも混乱はなく測定が進んでいきました。さらに同会より、骨密度測定の結果説明をさせていただきと打診がありました。健康運動と併せて説明をしたいとのことで、本会としてもお任せすることとしました。その結果、私たちは待合での来場者整理や測定前の説明、実際の測定に専念でき、サービス向上にも力を注ぐことができたと感じています。今回、このように他団体と連携できたことは非常に有意義だったと思います。

予定した骨密度測定者は200人でしたが、それを上回り測定できたこと、さらにポスター展示やリーフレット配布で、多くの方に診療放射線技師のことを知っていただく良い機会となりました。

今後も公益社団法人として、公益性を高める事業を展開できればと考えております。

（公益社団法人福井県診療放射線技師会

広報組織調査委員会 理事 馬場 国晴）



上：測定前の説明／下：測定の様子



日本健康運動指導士会さまによる骨密度測定の結果説明

## 英文誌 Journal of JART —English edition 2024— 配信のお知らせ

このたび、英文誌 Journal of JART —English edition 2024—が6月の中旬に配信されます。  
本誌の内容は、学術コンテンツとしまして、JART会誌へ掲載済みの論文・寄稿の中より優れたものを掲載しております。

※英文誌 Journal of JARTは、会員の皆さまに電子配信とさせていただきます。  
以下の本会Webサイトより、ご自身でダウンロードくださいますようお願い致します。

本会ホームページの“会誌・投稿”の“Journal of JART —English edition—”からダウンロードできます。

ダウンロード URL は、<https://www.jart.jp/journal/jart-en/index.html> です。



### 「Journal of JART —English edition—」 J-STAGE掲載のお知らせ

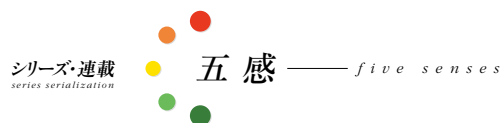
「Journal of JART —English edition—」は、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に掲載し、論文を会員内外に広く発信しています。J-STAGEは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。論文検索など有効にご活用ください。

## 2024年 春の叙勲受章者 —おめでとうございます—

|       |            |             |            |            |
|-------|------------|-------------|------------|------------|
| 瑞宝双光章 | 黒澤 昭典（東京都） | 中島 地康（愛知県）  | 中山 正人（群馬県） | 林 昌幸（徳島県）  |
|       | 深見 孝治（香川県） | 松本 好正（神奈川県） | 宮澤 浩治（埼玉県） | 矢作 康市（東京都） |
| 瑞宝単光章 | 高嶋 敏光（奈良県） | 瀧本 勝（兵庫県）   | 福神 敏（奈良県）  |            |

（敬称略・順不同、括弧内は所属地区）

## 新しもの好き



新しもの好きである。語源としては、「新しいもの、新奇なものを好むこと。またその人」である。コンビニエンスストアでは多くの新商品が開発され、有名コーヒーチェーン店からは季節のお薦めのドリンクやフードの新商品のプロモーション情報が送られてくる。いつも興味がそそられる。しかしながら、定番品以外は時期とともに知らぬ間に消え去っていく。

4月に関連学会であるJRC2024のITEM（国際医用画像総合展）に参加してきた。大小多くの放射線関連企業では、画像診断装置の実機が展示され、実際に機器の動作や操作感も体感できる。この展示に合わせた新製品のリリースもあり、日本、世界に初めて公開されるものもある。新しい製品や機能は、非常に興味深いものが多く、購入時期はまだ先であるが購買意欲や導入計画など勝手に想像しながら見学している。ワクワク感が

止まらない。新しもの好きを実感する時である。

第1回日本放射線医療技術学術大会（JCRTM2024）が、本会と日本放射線技術学会（JSRT）との合同開催で2024年10月31日（木）から11月3日（日）まで沖縄県宜野湾市で開催される。セミナーなどの合同開催はいままでもあったが、両団体によるコラボレーション学術大会の開催は初めてである。シンポジウムやセミナーなど、4日間で多くのプログラムが企画され、すでに演題募集も始まっている。やはり新しもの好きとしては、これに参加することは必然と考えている。

今回、新たな幕開けとなる学術大会はハイブリッド開催ではあるが、ぜひとも現地で参加しよう。暑さが和らぎ、過ごしやすい季節である沖縄の地でお会いしましょう。

（文責：木口 雅夫）

INFORMATION

第7回

第1回日本放射線医療技術学術大会 (1st JCRTM)

第40回日本診療放射線技師学術大会 (40th JCRT)

第52回日本放射線技術学会秋季学術大会 (52nd Autumn Scientific Congress of the JSRT)

# 沖縄への道 Go To OKINAWA

実行委員 久場 匡

(一般社団法人沖縄県放射線技師会 副会長)

## 沖縄県の周辺離島 (宮古・八重山)

前回から引き続き、周辺離島(宮古・八重山)についてご紹介させていただきます。

沖縄県は、沖縄諸島、先島(さきしま)諸島、大東(だいとう)諸島から構成されています。宮古・八重山は正式には**宮古列島・八重山列島**と呼ばれ、これらが先島諸島を成しています。**宮古列島**是那覇から南西約300kmに位置し、宮古島・池間島(いけまじま)・大神島(おおがみじま)・来間島(くりまじま)・伊良部島(いらぶじま)・下地島(しもじしま)・多良間島(たらまじま)・水納島(みななしま)で構成されています。**八重山列島**是那覇から南西約400kmに位置し、石垣島(いしがきじま)・竹富島(たけとみじま)・小浜島(こはまじま)・黒島(くろしま)・新城島(あらぐすくじま)・西表島(いりおもてじま)・鳩間島(はとまじま)・由布島(ゆぶじま)・波照間島(はてるまじま)・与那国島(よなぐにじま)で構成されています。那覇―宮古島間は飛行機で約50分～55分、那覇―石垣島間は飛行機で62分程度を要します。現在は共に旅客フェリーの運航はないようです。宮古・八重山はどちらも美しいビーチや透明度の高い海、**マングローブ林**などの自然が特徴で、リゾート地として多彩な観光スポットやアクティビティが提供されています。

ここからは、昨年まで勤務しておりました沖縄県立宮古病院のある**宮古島**にスポットを当ててご紹介します。

宮古島からは4つの島が橋でつながっており、**橋巡り・島巡り**がドライブのベースになっています。中でも2015年に開通した宮古島と伊良部島を結ぶ全長3,540mの**伊良部大橋**は、**日本一長い無料で渡れる橋**です。左右に広がる美しい青い海を渡る爽快感はあなたのテンション爆上げ間違いなし！以前はフェリーでしか行けなかった美しいビーチをより身近なものとしています。**渡口の浜(とぐちのはま)**や、**幻のビーチ17END**もいいですが、私のお薦めは**中の島ビーチ**です。**シュノーケリング**をするにはお薦めのスポットです。遠浅の海底はサンゴや岩でできており、たくさんの生き物たちのすみかになっています。地形もダイナミックで、**ダイビングスポット**としても知られています。また湾のようになっているため海況が荒れにくいことも特徴。他のビーチに行くと波が高かった…というときに立ち寄ってみるのも良いかもしれません。

宮古島にも景観の素晴らしいスポットが多くあります。来間大橋を渡ってすぐ近くの**竜宮城展望台**は、東洋一の砂浜とうたわれる**与那覇前浜(よなはまえはま・よなはまいばま)ビーチ**(砂がきめ細かい！)を一望でき、**インギーマリンガーデン展望台**では、青く広がる海と黒いサンゴ礁のコントラストを楽しめます(実はこの周辺、穴場のシュノーケリングスポットです！)。

さて、海で遊んでおなががいしたら、城辺製糖工場前にある創業1961年の老舗「**丸吉食堂**」のソーキそば、池間大橋近くの「**お食事処 すむばり**」の**たこ炒めそば**がお薦めです。ご当地**ハンバーガー**もおいしいですよ。宮古病院近くにある「**K's PIT DINER 宮古島**」もお試ください(クラムチャウダーもうまい！)。

JCRTMを機に、那覇から少し遠いですが、魅力たっぷりの離島にもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？



伊良部大橋



中の島ビーチ



インギーマリンガーデン展望台より



「お食事処 すむばり」のたこ炒めそば

JCRTM2024

# 第1回 日本放射線 医療技術学術大会

第40回日本診療放射線技師学術大会  
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

会場 沖縄 コンベンションセンター  
会期 2024年 10月31日(木) ~ 11月3日(日)



## ゆいまーる

診療放射線技術の共創  
All Japan  
Radiological Technology

**JART**

■ 大会長：上田 克彦  
■ 実行委員長：富田 博信

**JSRT**

■ 大会長：白石 順二  
■ 実行委員長：奥田 保男

【お問い合わせ先】第1回 日本放射線医療技術学術大会運営事務局

所在地：株式会社リンケージ沖縄内 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 2-8-2F

TEL：050-3666-2460 / FAX：098-890-1921 / E-mail：jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp

HP：https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024



## JART会員限定無料コンテンツ ネーミングの募集について

このたび、日本診療放射線技師会（以下、JART）会員向け無料コンテンツの公開に伴い、これらコンテンツの一括した呼称のネーミングを募集します。奮ってご応募ください。

### 【公開コンテンツ】

- ① JIRA 教育用セミナーVODトータルパッケージ（医療機器に関する企画や診療報酬、薬機法などの教育コンテンツ）
- ② 日用品の特別価格販売サイト

\* 今後、この会員限定コンテンツは順次、拡充・拡大していく予定です（STAT画像報告学習コンテンツ、創刊号を含む過去会誌アーカイブコンテンツなどを予定）。

募集期間：2024年6月1日（土）から7月31日（水）午後3時まで ※詳細については、会誌6月号のお知らせをご参照ください。

INFORMATION

## 2024年度 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 合同市民公開講座が開催されます！

■ テーマ：腰痛について考える！

■ 開催日時：2024年8月24日 午後1時30分～3時30分

■ 開催場所：さいたま共済会館 5階 501・502号室 〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-5-14

INFORMATION

## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

### ■ フレッシューズセミナー開催予定：

|              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 香 川 6月 1日（土） | 栃 木 6月 9日（日） | 愛 知 6月 9日（日） | 大 阪 6月 9日（日） |
| 愛 媛 6月 9日（日） | 青 森 6月15日（土） | 奈 良 6月15日（土） | 岩 手 6月16日（日） |
| 千 葉 6月16日（日） | 滋 賀 6月16日（日） | 熊 本 6月22日（土） | 北海道 6月29日（土） |
| 石 川 6月29日（土） | 京 都 6月30日（日） |              |              |

INFORMATION

## 6月・7月の講習会などスケジュールのご案内

- 消化管造影セミナー： Web開催 2024年6月25日（火）
- 骨関節撮影分科会セミナー： 京 都 2024年6月29日（土）
- 放射線治療分科会生涯教育セミナー（治療計画・乳房編）：北 海 道 2024年7月 6日（土）

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

### ■ 告示研修（実技研修）／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース（会場型）：

本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

### 【e-ラーニング（ストリーミング方式）】

- 告示研修（基礎研修） 2026年3月31日（火）午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日（水）午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修（在宅） 2024年12月20日（金）午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日から2025年1月26日（日）まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集 ・ラダーレベル3 2024年6月3日（月）午前0時から12月20日（金）午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日から各認定資格試験終了日前日まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格失効者講習会（在宅） 2024年6月3日（月）午前0時から12月20日（金）午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日から2025年1月26日（日）まで何度でも視聴いただけます。
- オンラインセミナー（在宅）：本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

INFORMATION

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。